

NEWS 310

Vol.48 令和4年5月号

NEWS 310 (ニュース サド) は佐渡観光交流機構の会員様向けニュースレターです。佐渡観光交流機構は、会員様はじめ佐渡の観光に関わる様々な方々の意見を尊重します。ご意見、ご感想をぜひお聞かせください。また、観光 PR のための写真画像、映像、イベント情報等がございましたらご提供いただけますと幸いです。佐渡観光交流機構を今後ともよろしく願いいたします。

佐渡観光交流機構ホームページの「お知らせ」にて公開しております。(https://sado-dmo.com/news/)

◆祝専務 ご挨拶

今年のゴールデンウィークは、久しぶりに行動制限のない連休ということで、コロナ前とはいかないまでも例年に近い雰囲気を感じることができたように感じました。また、当機構がある両津港の案内窓口にも海外のお客様がちらほらとお見えになることが増えてきました。いよいよアフターコロナが現実になってきているように感じます。

少し佐渡のことを客観的に考えられるデータをご紹介します。佐渡市と新潟市は、観光圏を形成しており、現在、全国に13認定されている観光圏のひとつとして、連携した観光地域づくりに取り組んでいます。その取り組みの中で、継続的に全国で共通した調査をしておりますが、佐渡と他の地域と比較した場合『地域の滞在時間が長め』『一人当たりの観光消費額は高め』と良い傾向も出ていますが、『施設の満足度は低め』という課題も見えており、この傾向は、かなり以前から続いています。

今年度、観光庁の補助事業『地域一体となった観光地の再生・高付加価値化』事業を当機構として申請し、先日、地域採択がされました。この後、地域全体計画を提出するとともに各事業者様に個別計画を作成していただき、事業が本採択となる流れとされています。この事業を活用し、地域全体でリニューアルしたというイメージができれば、世界遺産登録を前に長年の課題に対する解決になる可能性があると考えています。今回手上げをしてくださった事業者さまにおかれましては、別途ご案内をいたしますが、5月16日に事業説明会を予定しておりますので、ご多忙中とは存じますが、ご参加くださるようお願い申し上げます。

◆島の宝観光連盟 全体会議を開催しました

4月17日～19日の3日間、「島の宝観光連盟」の全体会議を佐渡島で開催しました。この観光連盟は、佐渡観光交流機構を含め、6つの離島観光団体が連携して島の宝を全国にPRし、島の活性化を図ることを目的に設立されました。令和4年度は、首都圏での「島旅アンバサダー」による離島プロモーションや各島をピックアップしたオンラインイベントを実施します。ぜひご期待ください。(マーケティング事業部 小西)

◆佐渡フェア IN ルフル広場に参加しました

『佐渡島の金山』の世界遺産登録推薦を受けて、佐渡の名産を集めた物産展が新潟古町の新スポット「ルフル広場」で開催されました。「佐渡金銀山商品開発プロジェクト」商品の他、佐渡の定番・人気商品の販売や鬼太鼓の実演、佐渡金銀山や佐渡の魅力のわかる展示などを行いました。観光ブースには多くの方からお立ち寄りいただき、「世界遺産登録応援しています」、「GWに行きます」など声をかけていただきました。これからの観光シーズンに向けて、佐渡の魅力をお伝えできたと思います。(総務部 中川)

◆手ぶら観光サービスを開始しました

暖かい季節になりレンタサイクルを利用されるお客様も増えてきました。そこで、4月29日から新たなサービスとして「**手ぶら観光サービス**」を開始いたしました。**両津港・小木港から島内お宿へ（またはその逆）荷物を配送するサービスです。お荷物1個につき@1,000円（税込）でご利用可能です。小木航路は就航期間、両津航路は通年で提供いたします。**

佐渡へ到着してから、レンタサイクルで自由に回られるお客様や、路線バスでのんびりと回られるお客様にうってつけ！手ぶらでのんびり行く「佐渡のしま旅」を応援していきます。（旅行事業部 中林）

◆ドンデン高原山開き 安全祈願祭を行いました

4月23日にドンデン高原の山開き安全祈願神事式を執り行いました。当日は天候が不安定であったため、ドンデン高原ロッジ内にて関係者が参加し挙行いたしました。

コロナ渦においてトレッキングなどのアウトドアニーズの高まりもあり、この春は多くのトレッキング観光の需要があるものと予想しております。山愛好家の方たちの安全と佐渡山の思い出作りに関係機関が連携し、協力してまいります。

神事式後は雲の切れ間より太陽が顔を出し、明るい兆しが見えた山開き初日でした。（両津支部 宮本）

◆小木航路ジェットfoil就航歓迎イベントに参加しました

4月29日、直江津～小木航路の今年度のジェットfoil就航に合わせて、着船時の小木港にて歓迎イベントが行われました。佐渡汽船小木港ターミナルでは、**鬼太鼓披露のほか、記念品の贈呈、地元の方々による歓迎が行われました。**ゴールデンウィークの始まりの日だったため、釣り客をはじめとした観光のお客様が多かったように感じました。（旅行事業部 鈴木）

◆小木沢崎地区 のりり体験会に参加しました

4月23日に小木沢崎地区で開かれた「のりり体験会」に参加してきました。今回は販売のお手伝いをさせて頂きました！

小木沢崎地区は、江戸時代から板海苔の製造が盛んで、製造方法は浅草より技術が持ち込まれました。岩海苔自体は佐渡各地で採れますが、板海苔を製造する過程はとても細かく手がかかるため、今では高齢化の影響もあり製造する人はほとんどいないそう。

板海苔づくりを何とか継承し、価値を伝えたい、と、沢崎のりり有志の会と、地域おこし協力隊の方々がこの会を企画しました。体験会を通して、多くの人にこのような文化を知ってもらうことにより、伝統を守る方法を模索していくことの大切さを実感し、地域の方と一緒に今後もっと距離を縮めて活動していきたいなと思いました。

今回は島内限定で行いましたが、今後は観光客の方々にも参加してもらえるよう、また我々もお手伝いできればと思います。（マーケティング事業部 佐藤）

一般社団法人 佐渡観光交流機構 〒952-0011 新潟県佐渡市両津夷 384-11

TEL : 0259-23-5230 FAX : 0259-23-5232 <https://www.visitsado.com/> Facebook twitter